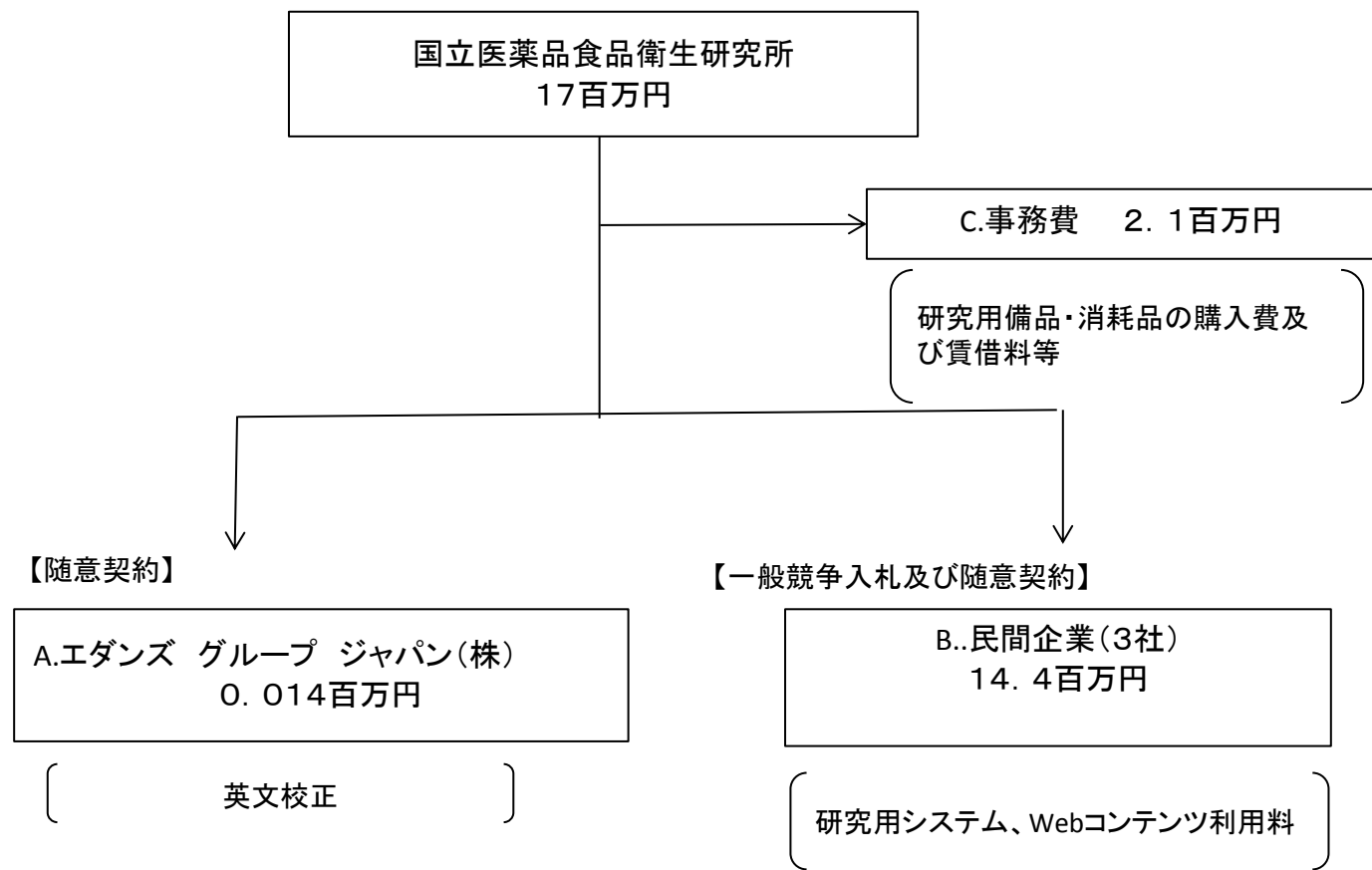


平成25年行政事業レビューシート

事業名	研究情報基盤整備費（研究情報整備費）	担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度	担当課室	総務部 会計課	岡村 真一				
会計区分	一般会計	政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬品、食品及び化学物質に関する安全性情報の根拠となる科学的データや専門家による評価情報をインターネットを通じて国内外の研究機関及び行政機関等と情報共有するため、研究情報基盤を整備することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国内外の研究機関・行政機関等に対し、①国立衛研の試験研究事業によって生成された試験研究データ、②国立衛研が中心となって、あるいは協力して編纂・整理・収集した科学的知識及び研究関連情報、③外部機関から国立衛研に提供された有用情報、等の情報を改ざん防止等の十分なセキュリティ対策を行った上でインターネットを通じて情報提供するとともに、外部の最新の研究情報を入手するため、必要な研究情報基盤の整備を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	18	17	17	17	17	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	18	17	17	17	17	
		執行額	15	16	17			
	執行率(%)	83%	94%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	Webページでの情報提供へのアクセス数	成果実績	%	-	-	168万件	146万件	
		達成度	%	-	-	115%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国民が必要とする医薬品等、食品等、化学物質に関する情報の提供を目標としている。事件・事故や研究成果等に関する情報提供であるため、その発生等に依存することから、努力目標としての定量的な活動指標・実績を示すことは難しい。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-	
			-	(-)	(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-	算出根拠		-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	3	3					
	電子計算機等借料	14	14					
計	17	17						

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	医薬品等に関する安全性情報の根拠となるデータ等を国内外の行政機関等と情報共有するための事業であり、24年度は約168万件のアクセスがあり、国民のニーズは高く、国費を投入する必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国内外の研究機関及び行政機関等と情報共有しており、国において実施することが適当である。			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	医薬品等に関する安全性情報の根拠となるデータ等を国内外の行政機関等と情報共有することは国民の安全確保のためにつながると考えられ、優先度が高い。			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	研究情報ネットワークシステム賃貸借について、平成23年10月の機器更新時に、一般競争入札を実施し、競争性を確保した。また、随意契約の案件でも複数者から見積もりを徴収し、最廉価格の者と契約した。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	真に必要な経費のみ支出している。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点 検 結 果	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の研究機関等と情報を共有するため、医薬品等の安全性情報の根拠となるデータ等をインターネットを通じて情報提供を行い、平成24年度はwebページに168万件ものアクセスがあったところ。 ・また、執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。 					
外部有識者の所見						
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	本事業は、医薬品食品、化学物質の研究に必要な研究情報基盤の整備に要する経費であり、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	586	平成23年	533	平成24年	472

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.日本電子計算機(株)			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
試験研究費	研究用システム賃借料	14			
計		14	計		0
C.(株)リコー			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
試験研究費	研究用事務機器保守管理料	1.2			
計		1.2	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エダズ グループ ジャパン (株)	英文校正に係る経費	0.014		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電子計算機(株)	研究用システム賃借料	14	随意契約	
2	(株)紀伊國屋書店	医中誌Webの利用料	0.26	4	92.80%
3	Elsevier B. V.	Webコンテンツ利用料	0.23	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)リコー	研究用事務機器保守管理料	1.2	随意契約	
2	SCSK(株)	研究用消耗品の購入費	0.65	随意契約	
3	(株)伊藤サプライ	研究用備品の購入費	0.17	随意契約	
4	リコーリース(株)	研究用備品の賃貸借料	0.035	随意契約	
5	(株)薬事日報社	研究用書籍の購入費	0.035	随意契約	
6					
7					
8					
9					
10					